



令和7年度 第6回学校運営協議会を開催しましたので、議事の概要を報告します。

開催日時: 令和8年3月2日(月) 9時00分から10時45分

会場: 国立市立国立第二小学校 会議室

出席者: 三上 滋 福澤 佳子 秋谷 恵理子 福島 美智子 山道 亜貴子
古川 紀子 三浦 なつみ 作田 友美子 中谷 純江

学校側出席者: 内田 辰彦(校長) 後藤 茂敦(副校長) 中田 真理(教務)

《主な協議内容》

司会: 三上 滋(会長) 記録: 中田 真理

(1) 令和8年度教育課程について

来年度は「かしこく」に重点目標が変わり、「基礎学力の定着と個別最適で協働的な学びの推進」を基に、主体的な学習者を育む教育環境を推進する。

*ICTの高度な活用

セカンドGIGA 端末やデジタル教科書・クラウド等を活用し、創造的な学習環境を加速する。

*児童の意見表明権の具現化

校庭の植樹や遊具使用におけるルール作りなど、児童が自己決定できる場を設け、主体性を育てていく。

*不登校児童へのきめ細やかな対応

校内に別室指導の場を確保し、一人ひとりの状況に寄り添った居場所づくりを行う。

【学校経営と地域連携の分野において】

*働き方改革の推進

ICTの活用や教材共有により業務を効率化し、教職員の月間時間外勤務を30時間以内とする具体的な数値目標を設定し推進する。

*「つなぐ教育」の深化

地域学校協働活動として「二松クラブ」や「おはなしの会」等の活動を支援し、学校と地域が一体となって子どもを支えていく。

*学校経営理念の共有

「どの子ども、今成長している」という信念のもと、教職員が情熱をもって挑戦し続ける環境を創造する。

※質疑応答では、ICTの活用や対話を通じた児童の意見の反映、習熟度別学習を通じた「個別最適な学び」の具体策が議論された。また、不登校児童への柔軟な居場所作りや、副担任制を含む手厚い支援体制についても共有した。さらに、総合的な学習の時間の内容や、教材共有・教科担任制による教員の働き方改革の成果について報告した。「主体的な学び」と「持続可能な運営」の両立に向け、多角的な視点から建設的な協議が行われた。

(2) 令和8年度学校運営協議会委員及び地域学校協働活動推進員の承諾について

(3) 令和8年度学校運営協議会実施日程について

(4) 地域学校協働活動推進員より

*二松クラブにおける、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の関与について

*「二小おはなしの会+OG」の地域活動に対するサポートについて

*令和7年度補助金の支出について

(5) いじめの実態や内容について

*1~2月における軽微ないじめは13件。市に報告しているのは3件。中身は冷やかしのからかい。教職員全体で共有し、見守り体制を整えている。

《協議結果》

第6回学校運営協議会は、以上の内容を承認しました。

◎次回の学校運営協議会は、令和8年4月25日(土)13時30分より、会議室にて開催予定。